



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2006 3

Bulletin

2006. 3. 1. 発行
第23巻 第9号 通巻272号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒604-8101 京都市中京区三条烏丸通東角
電話 (075) 231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1983

クラブ主題

思いやる気持ち

国際主題 「求めるワイズから 行動するワイズへ」 "Be Y'smen in Deed not Y'smen in Need" Benson Wabula (ケニア)

アジア主題 「行動するリーダーになろう」 "Lead by your own Action." Janet Siew (シンガポール)

西日本区主題 「すすめ、愛と勇気をもって」 "Go Forward with Love and Courage" 佐野文彦 (西日本)

京都部主題 旬 (Shun) 古田 裕和 (京都トッポビー)

メネット主題 愛を追い求めなさい！ 愛は家庭から、そしてワイズ、地域社会へ 菅原代子 (熊本ひがし)

会長/竹田 博和
副会長/石倉 尚
田中 雅博
書記/藤本 純夫
会計/菅原 綾一



聖句 「その日、その時はだれも知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存知である。気をつけて目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである...」
(マルコによる福音書 第13章32～33節)



IBC・DBC の醍醐味

交流委員長
仁科 保雄

京都キャピタルクラブの交流事業も韓国釜山ベゼルクラブとの兄弟クラブ締結に始まり、ワイズの大きな歴史を有する東京クラブとのDBC 締結とクラブ創設以来、重要なクラブ事業の一環として各年度に引継がれてきました。

当初、IBC 交流は子供たちの相互交流事業を目的としてはじめられ数回の交流が行われていました。

最近では子供たちも成長自立し、互いの目的と人生があり、私たちがこのような交流をもっと積極的に進めてほしいと思ってもなかなか思ったようにはいかないのが現実です。

私たちのものの考え方も大いに影響を与えている所もあるのですが、人間性も少しずつ変わってきているようです。

互いの文化を良く知り、理解して交流を図っていくことが重

要な事なのですが、自己中心的なものの考え方が強い現状を考えると、互いに難しい事と、このままでは事業自体弱体化していくのが心配な事と思います。

しかし今、若いメンバーを中心に各事業活動が活発化してきている事は、これからのIBC 業にも大きな期待を持たせてくれるものであります。

DBC 交流事業は先ほど述べましたように、ワイズ75年の歴史をそのままに素晴らしい活動と行動力に私たちが胸を借りて、これから私たちが目指し、目標としていかなければならないクラブが東京クラブであります。

なぜならば、様々な社会経歴の持主として私たちに活力ある影響を与えていただけるクラブであり、そのような幅広い経歴を持つクラブを兄クラブとして持っていることを誇りに思います。私たちのクラブもこのように素晴らしい人格の持ち主や奉仕に活躍する人たちにふれあい、広い心をもった人の集団となるよう、交流で得た様々な経験を生かして成長していきたいものと思います。

西日本区
強調月間

3月 EF・JWF

感謝をもって、クラブ周年・個人的記念等の献金をしましょう。
ワイズダム発展のために

オードリ・ギルグファンド事業主任

2
月
報
告



在籍者数 28名
広義会員 1名
第一例会 29名
第二例会 24名
ゲスト 2名
出席率 100%



切手 0g
現金 0円
累計切手 0g
累計現金 0円
JWF 0円
JWF累計 0円
EF累計 0円



第一例会 15,000円
第二例会 4,000円
累計 143,000円



0円
累計 885,089円



献血成分累計
0cc
0名
0cc
成分累計



第一例会 2,563円
第二例会 2,482円
累計 53,636円

—— 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手収集 ——

2月第一例会

心あるものには愛情を

内廣 健



竹本昌生様

立春とは言うものの、例年でない余寒が続く中での2月第一例会。

外の寒さとは裏腹に、明るく華やいだメン、面、メンが打ち揃ったところで、田中副会長の司会に依り定刻通りにスタートした例会でしたが、竹田会長の点鐘が行われようとした時、なんと肝心の鐘がない...という一寸したハプニングもあったりして、

一瞬の戸惑いの後に笑いが起こり、今回も楽しく幕が開きました。

まずは、金原弘明さん(スポンサー大門さん)、豊田貴志さん(スポンサー岡島さん)お二人の入会式が、堀一行EMC委員長の下でY'sのルールに従って厳粛に進められ、新進気鋭のメンバーを迎えた我がクラブは、更なる飛躍と発展を約束されたようで、メダタシ、メダタシの気分です。

金原、豊田両氏からの「キャピタルの和の仲間に入り、交流に励みながら奉仕の心を持った行動に務めたい」との、情熱あ

2006年2月7日(火)

於 ウェスティン都ホテル京都

ふれる心強い決意の言葉に、新風が吹き込んで来たような明るい未来感を持ったのは私だけでしょうか。

引き続き「首輪をつけた捜査官」と題する竹本昌生様の講演を拝聴したのですが、愛犬家が高じて、今日では欠かすことの出来ないほど重要な警察犬の「移行臭気鑑別法」なる方法を編み出され、世界に誇れるまでになったという経緯とご苦労と実績の具体的なお話に、全員が感動しながら聞き入った次第です。

いくら言葉が通じない犬ではあっても、心からの愛情を以って接し、良いところは褒めちぎってやり、献身的な忍耐と根気で躾と訓練を行わなければならないとのこと。

これは犬に限らず、最近の私達の社会生活に於いても、最も重要な教訓であるように思われてなりません。

寒空の中、ほんわりとした温かい想いを胸に、あれこれ考えさせられつつ帰途についた私でした。



豊田さん(左) 金原さん(右)

新入会員プロフィール

金原 弘明 HIROAKI KANEHARA
住 所 京都市伏見区桃山町松平築前1-1-227
生年月日 1967年11月3日
血液型 A
結婚記念日 3月5日
職 業 社会保険労務士
勤 務 先 金原社会保険労務士事務所 代表
趣 味 ドライブ・パソコン
モットー 常に誠実
家 族 妻 康代
長男 佑征
次男 拓未
推 薦 者 大門和彦、香山章治

新入会員プロフィール

豊田 貴志 TAKASHI TOYODA
住 所 京都市伏見区日ノ岡坂脇町29-2
生年月日 1975年9月18日
血液型 A
職 業 コンビニエンスストアー
勤 務 先 株式会社 豊田産業 代表取締役
趣 味 マージャン
モットー 有言実行
家 族 父 晴昭
母 典子
推 薦 者 岡島 脩雄、堀 一行

2月第二例会

TOF 例会

「参加する」から「もう一步踏みこむ」

瀬本 純夫

2月はTOF月間ということで、山田委員長の挨拶により始まりました。地域奉仕に対する熱い思いを述べられ、現在キャピタルの中心的活動になっているふれあい広場、ベテスタ祭りを新しいメンバーにも本当に理解してもらうこと、また、ベテランには再確認してもらうことをテーマにした例会となりました。

最初に大山Yサ委員長がふれあい広場について、続いて堀EMC委員長がベテスタ祭り、ベテスタの家について、それぞれの創世記からの話しをされました。

それぞれがどういった経緯で始まり、現在に至っているかが詳しく話されました。20年を超える歴史の中、綺麗に、充実したものとなってきたとのことでした。

2006年2月21日(火)

於 ウェスティン都ホテル京都

けれど、私たち新しいメンバーは綺麗になり、充実している姿しか知らず、その事業に携わっているのです。立ち上がりから知っておられる先輩方とは思い入れの温度差はあると思いますが、今後参加するにあたり、その思いを受け継いでいければと思います。

今回このような形で、ワイズの奉仕に対する考え方や、思いを学ぶことができましたが、今後もこういった学べる機会を持つことができれば、ただ参加するから、もう一步踏み込んでいくことが出来るように感じました。

聖句の解説 この世の終わりはいつなのか誰もわかりません。ノアの神は言われるままに箱舟を作り大洪水に備える事ができました。信仰によって目を覚ましていたからでした。思わぬときに突然やってきます。それは、主が突然こられても十分な心構えができてるように、私たちにその時を教えずにおられるのです。新しく生きる術が「目を覚ましていなさい」という教えに込められています。

あなたの第二の人生は？

山田 隆之

私の第二の人生は65歳に始まります。その頃、私の会社は造園業界では京都で5本の指に入るほど成長しています。後世に残る作品も幾つか作庭することができ、この記事を書く直前に東寺に植えた枝垂桜も京都を代表する桜に成長し名所になっています。私は花見の季節になると孫をつれて東寺に行き、桜の下で当時の自慢話をワンカップ片手にします。毎年同じ話をするので孫にはかなり嫌われています。その頃4人の子供も成長し各々自分の道を歩いています。

長男の隆太は幼い頃からの夢であった教職の道に進み、野球部の顧問で休日も返上して白球を追っていますが、何時も準々決勝で負けています。長男には小学校6年になる子供(孫)がいます。少年野球に入ってエースで4番、土日はこの孫の面倒は私が独占して見ます。朝早くから弁当を持ってグラウンドに行き、試合が終わると焼肉屋で打ち上げをします。あまりかまひ過ぎるので長男の嫁とはうまくいっていません。しかし、私は野球の送迎だけは高校を卒業するまでは絶対に続けます。

次男の大輔は小さい頃からとても優しい子で養護学校に勤めています。小学校の時に始めた柔道を続け、地域の子供に教えています。4人のなかで一番ブサイクな子供でしたが綺麗で優しい嫁をもらい、安月給ですが幸せに暮らしています。私は次男の嫁が一番好きで、お土産なども次男の嫁だけには必ず買って帰ります。

長女の奈未は性格が悪く、我がままなので結婚はできません。子供の頃から美術が好きで、美大を出て作家を目指して年に何回か小さなギャラリーで個展を開いて頑張ってはいますが、まったく売れません。しかたなしに幾つかわたしを買ってやります。

三男智也はいまだに「ボー」としていません。三流の大学を出て中小企業の事務職で平凡な毎日を送っています。二人の子供を嫁に獲られたと思込んでいる家内の小言を聞いて成長したので、女性とはうまくいかないようです。

わたしは週に2回ゴルフにいきます。若い頃は「イーグル山田」と呼ばれ豪快なショットで尊敬されていましたが65歳を超え飛距離も落ち、今では「ヨセワンの山田」と呼ばれシングルプレイヤーです。もう一つの趣味のドラムも再開し、祇園のバーに昔のメンバーと月に何度か出演し、「エルビン山田」と呼ばれ渋いフレーズを叩いています。

東京クラブ設立75周年記念祝会

2月25日 東京ガーデンパレス

岡本 尚男

会場にはIBCのベンディゴ・台北・香港・ソウルクラブ、DBCの私たちのクラブ以外に台湾区理事・秘書、シンガポールのベーターチャプタークラブ、西日本区から大阪・大阪サウス・京都ウエスト、東日本区の39クラブにY3・EAST、など267名が集った。ミニ国際大会の様相を呈していた。1931年2月6日、大阪クラブをスポンサーとして日本で4番目に誕生以来、75年の歴史を刻んだクラブらしい、風格のある祝会となった。

第1部の記念礼拝に続いて、第2部の記念例会は、松田俊彦会長によって100年目に向けての指針が語られた。質量とも兼ね備えたクラブ会員50名達成、YMCA・ワイズの区・部などへのリーダー輩出、明日を担う子どもたちのためにユースクラブ、ワイズメネット活動支援を「三位一体の活動」と力強く話された。また、75周年記念として東京YMCA、EF、JWF、日本ユニセフ協会へ総額160万円を贈呈することが発表された。第1部で献金された16万円余も、別途加えられてユニセフ協会に捧げられた。

第3部の記念講演は、日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンによる「みんな地球に生きるひと—明日を担う子どもたちのため

に—」と題したものであった。大使として世界の貧困地域を訪問して体験した、凄まじいまでの飢餓の実態は、聞くものの心を打ち涙なしでは聞けないものであった。詳細は紙面の都合で割愛する。講演終了後は同じ場所で要領よく記念撮影があった。

第4部は会場を移して記念祝会。二次会は、他クラブの方も交えて、ホテルからすぐの所にある「さくら水産」で開催された。私たちは招待者扱いであった。

26日は雨であった。聖日礼拝に続いてIBC・DBCアッセンブリーで3分間スピーチのクラブ活動報告がホテルの一室で、全て英語で進行された。竹田会長もスピーチ。翻訳は東京クラブの山中さんがすすめた。お土産の交換も行われた。伏見の清酒「豊祝」とメネット会から京都の干菓子がクラブから人数分贈呈された。東京クラブからも「かりんとう」を頂戴した。

終了後、英語に堪能なガイド付きのハトバス2台に分乗して、皇居前広場を経由して、日の出棧橋から東京湾周回の東京ベイ

ランチクルーズ。豪華な料理の数々で満腹した頃から、台湾や韓国の人たちによる合唱が始まり、私たちも勝山さんのリードで有志による「古里」の合唱でお茶を濁した。約2時間あまりのクルージングを終えて、再びバスで浅草へ廻り、浅草寺にお参りして、境内を散策して16時頃ホテルに戻り、東京クラブの皆さんと別れた。

今回の祝会に参加して、日本でも有数の歴史あるクラブの弟クラブとして連なっていることの責任の重さを痛感した。日常のクラブ



神崎 清一

活動では見えないが、人の質の高さ、教養の深さなど、十分な経験を積まれた、大人としての会員を擁していることを実感した。国際クラブとしての面目躍如といった底力を垣間見た。私たちはもっともっと研鑽を積まなければならないと思った。

参加者 石倉尚、石村吉宏、内廣健、内廣嘉子、岡本尚男、岡本都、勝山廣一郎、勝山憲子、香山章治、大門和彦、竹田博和、田中雅博、仁科保雄、仁科節子、橋本真一、堀一行、堀明美、村田深砂子、森常夫、山口弘子、大前春菜・泰菜 内廣孫)

ファンド麻雀&オセロ大会

八木 悠祐

2月4日(土) ファンド主催の麻雀&オセロ大会が開催されました。場所は串楽串楽隣の雀荘(チャンピオン)にて、8人の参加で壮絶? な試合が行われました。

雀荘という独特の空間で、他のお客様がいるにも拘らず串楽串楽よりどんどんビールや串の出前が運ばれ飲み会のような雰囲気の中、各メンバーは麻雀やオセロに興じました。

前日より一度も上れなかった私も終盤何とか上がることができ、ホッと胸を撫で下ろしましたが、2日連続ダントツの最下位になり、身の程を思い知らされる結果となりました…。終了後、串楽串楽に場所を変え打ち上げの後、解散となりました。

今回のファンド収益の中から、4,000円がニコニコにカンパされました。

参加者 竹田、石倉、田中、柳、山田(隆)、山口、村田、八木

新入会員歓迎会

吉井 崇人

2月16日、四条の「山よし」にて、金原さん・豊田さんの歓迎会が開かれました。今期に入って2度目の歓迎会。私にとっては初めての歓迎する立場での歓迎会でした。

私自身、入会させて頂き、短いですが時間もたち少しづつですがYMCA・キャピタルクラブの事が理解できてきました。

私が入会してから良く耳にする「キャピタルクラブのメンバーは、みんな仲間」。初めは、ピンと来ませんでしたでしたが最近では、自分に仲間と呼べる人達がいる事が凄く幸せに思います。そして、また新しく2名の仲間が増えたことが本当にうれしいです。まだ、メンバー増強の目標人数には達していませんが、いい仲間を増やしていくために自分も頑張って行かねばと思いました。

最後になりましたが、金原さん・豊田さんおめでとうございます。そして、よろしくおねがいします。

参加者 石倉、岡島、岡本、香山、菅原、大門、竹田、田中(雅)、橋本、堀、村田、森、金原、豊田

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

香山 章治	3. 11	勝山廣一郎	3. 23
岡本 尚男	3. 31		

メネット

森 絹代	3. 3	香山 慶子	3. 16
------	------	-------	-------

コメント

竹田 睦子	3. 31		
-------	-------	--	--

HAPPY ANNIVERSARY

山田 英樹・とも子	ご夫妻	3. 20
竹田 博和・倫子	ご夫妻	3. 25
大石 幸夫・博子	ご夫妻	3. 26
大山 孜郎・悠子	ご夫妻	3. 31

創立117周年記念会員集会在2月18日(土)午後6時30分よりマナ・ホールで開かれました。第1部創立記念礼拝のあと、第2部は「その時Yは動いた」~京都YMCAの知られざる歴史の究明~と題して、歴史と転換の時代がダイジェストで綴られました。

1889年の京都YMCAの誕生から、会館建設、リトリートセンターの誕生、青少年センターの完成、三条本館の建て替え、9つのランチの開設と閉館までの間のできごとについて、それぞれご苦労された会員の方の「証言」を交えながら、洛中クラブの山田信悟さんの進行で京都YMCAの歴史を学び、再確認する会となりました。

歴史を振り返りつつ、この会を通して常に問いかけられたのは、「京都YMCAの使命とは、そして将来は? 会員一人ひとりがしなければならぬことは?」ということであったように思います。

残念ながら今回ご出席になれなかったメンバーのみなさまには、ぜひ「京都YMCA史」をお読みいただき、117年の歴史に思いを馳せていただければ、と存じます。

参加者 岡本・大山夫妻、石倉、竹田、山口特別メネット

3月・4月予定抄

3月7日(火)	第1例会	HB・HA
3月19日(日)	サバエキャンプ場緑化ワーク	
3月25日(土)	第2例会	花見例会
3月28日(火)	役員会	
4月4日(火)	第1例会	HB・HA
4月18日(火)	第2例会	
4月23日(日)	リトセン夜桜フェスタ	
4月25日(火)	役員会	

第11回 役員会議事録

2006年2月28日(火)19:00~21:00
ウエスティン都ホテル京都

<報告事項>

西日本区

- 西日本区大会案内 各自申し込み
- 西日本区より各クラブの活動報告提出依頼
- 東日本区大会の件 仙台国際センター
- 西日本区次期会長・主査研修会 3月18日・19日

京都部

- パレスクラブ35周年記念例会
- 京都部評議会

YMCA

- 3月12日 リーダー卒業祝会
- 4月23日 リトセン 夜桜フェスタ
- 5月21日 チャリティーラン

<各事業委員会報告>

Yサ・ユース	サバエキャンプ場野外施設
ドライバー	第1例会 メンバースピーチ
	第2例会 花見例会
ファンド	4月『京都で温泉気分』
交流	DBC・東京クラブ75周年
EMC	会則改定

<審議事項>

- サバエ野外施設へのYサ事業費支出の件 承認
- 会則改定の件 次回役員会にて継続審議

